

20周年

市長あいさつ

ともに歩んだ20年 輝く未来へ

石岡市は本日、市制施行 20 周年という大きな節目を迎えました。平成 17 年 10 月 1 日に旧石岡市と旧八郷町が合併して新たな一歩を踏み出して以来、本市は「歴史と文化のまち石岡」・「自然と人が共生するまち石岡」として、地域の特性や資源を活かしたまちづくりに取り組んでまいりました。

この 20 年間、人口減少や少子高齢化、東日本大震災をはじめとする激甚化する自然災害、未曾有の事態となった新型コロナウイルスなど、私たちは多くの課題や困難と向き合ってきました。しかし、その一つひとつを、市民の皆さまと共に知恵を出し、力を合わせて乗り越えてきたことこそが、石岡市の誇りであり、かけがえのない財産であると実感しております。

これまでの歩みの中で、私たちは数多くの挑戦を重ねてきました。筑波山の裾野に広がる豊かな自然を活かした観光振興、伝統ある「常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）」をはじめとする文化の継承、若者や子育て世代を応援するための福祉・教育施策、そして農業や地場産業の振興など、地域の可能性を引き出すための取り組みを着実に進めてまいりました。

また、石岡市総合計画における目指すべき将来像「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」の実現に向け、将来を見据えた新たな挑戦を始めています。結婚・出産・子育ての切れ目ない支援や、安心して働ける雇用環境の整備、さらには学校教育の充実など、子育て世代や若者が希望をもって生活できる環境のさらなる充実を目指してまいります。また、観光や交流人口の拡大にも力を注いでおり、石岡の自然・歴史・文化などの地域資源を生かしたプロモーションや、石岡つくばねハーフマラソンをはじめとしたイベントの開催、地域資源の利活用による賑わいづくりを進めています。加えて、防災・減災対策の強化や、高齢者をはじめとする誰もが安心して暮らせる地域づくり、市民との対話による協働のまちづくりなど、石岡市がこれからの時代にも輝き続けるための道筋をしっかりと描いてまいります。

この節目を迎えるにあたり、私たちは過去を振り返るとともに、次の 10 年、20 年を見据え、地域の力を結集して未来へと歩みを進める決意を新たにしています。これからも、市民一人ひとりが主役となり、誇りと愛着を持って暮らせるまちを目指して、職員一同、全力で市政運営に取り組んでまいります。

結びに、これまで石岡市を支えてくださったすべての皆さまに、心から感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

石岡市長
谷島 洋司

石岡市市制施行20周年を迎えて

石岡市市制施行 20 周年という大きな節目を迎えるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。

現在の石岡市は、平成 17 年 10 月 1 日に旧石岡市と八郷町が合併し、新たなまちとして歩みを始めました。それから早くも 20 年の歳月が流れ、この間、先人たちが築いてこられた歴史と伝統を大切にしながら、変化する時代の中で、東日本大震災や新型コロナウイルスの流行など多くの困難を乗り越え、今日の発展を遂げてまいりました。これもひとえに、市民の皆様のご協力と、市政運営に携わってこられた歴代市長並びに職員の皆様のご努力の賜物と感謝申し上げます。また、合併という大きな転換点を乗り越え、新市の基盤を築き上げてこられた初代議長をはじめ、各時代の課題に真正面から向き合い、市民の声を市政に反映させてこられた先輩議員の献身とご尽力に、深い感謝と敬意を表します。

合併により誕生した新しい石岡市は、広域的な視点を持ちながらも、地域ごとの特性や課題をしっかりと把握し、個々の住民の生活を支える施策を展開してまいりました。この 20 年の間には、新庁舎建設など行政サービスの充実や朝日トンネル・上曽トンネルの開通などの都市基盤の整備、各小中学校の統合などの教育環境の充実、子育て世代への支援拡充、また、地域づくりに向けた多くの取り組みが行われました。

現在、私たちは人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化など、これまで以上に複雑で多様な課題に直面しております。こうした状況の中で、議会としても市民の声を真摯に受け止め、市執行部との連携のもと、開かれた議会運営と健全なチェック機能を果たすべく、不斷の努力を続けてまいります。

20 年という節目は、過去を振り返るとともに、未来を見据える重要な機会でもあります。若者が地域に根を下ろし、活躍できる場を提供することで、将来にわたって石岡市の発展を担う力となります。私たち一人ひとりが、ふるさと石岡への誇りと愛着を胸に、次の世代により良いまちを引き継ぐ責任を改めて自覚し、力を合わせてまいりましょう。

最後に、改めて関係者の皆様に感謝の意を表し、私たち全員が力を合わせて、石岡市の次時代を作り上げていく決意を新たにしたいと思います。

結びに、石岡市のさらなる飛躍・発展と市民の皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、議会を代表しての挨拶いたします。

議長あいさつ



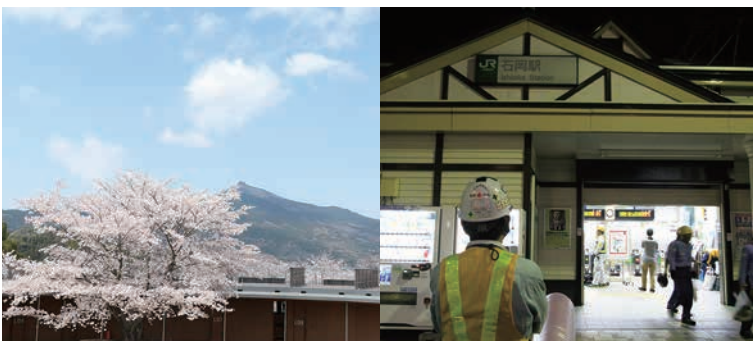
石岡市議会議長
村上 泰道

目次

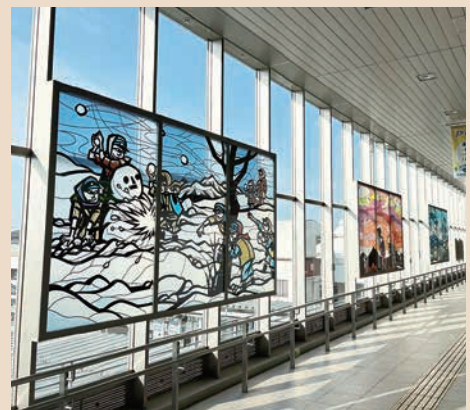
- 2 - 7 **特集** 石岡市市制施行 20 周年
- 8 - 9 **特集** みんなで広めよう！
 シルバーリハビリ体操
- 10 - 11 情報ネットワーク Pick Up
- 12 - 21 情報ネットワーク
- 22 子育て information
- 23 ヘルスメイトの健康レシピ
 消費生活ホットライン
- 24 図書館つうしん・時の記憶
- 25 文芸いしおか・スポーツ協会だより
- 26 - 27 まちの話題
- 28 わがやのアイドル・読者アンケート



今年、開園 40 周年を迎える「いばらきフラワーパーク」。昭和 60 年の開園以来、四季折々の花々が訪れる人々を迎え、家族連れや観光客、市民の憩いの場として親しまれてきました。バラをはじめとする多彩な花々は、春の華やかさ、夏の彩り、秋の深み、冬の趣をそれぞれに楽しませてくれます。近年は園内のリニューアルやイベントの充実により、花と緑、香りと体験が一体となった「見る」から「感じる」空間へと進化。これからも地域とともに歩み、笑顔と感動を届け続けます。



今年は石岡市にとって、とても特別な一年です。市制施行 20 周年を迎えるとともに、四季折々の花で訪れる人を笑顔にしてきた「いばらきフラワーパーク」は開園 40 周年、石岡の玄関口として人やまちをつなぎ続けてきた JR 石岡駅と JR 高浜駅は開業 130 周年という大きな節目を迎えます。花の香りや色彩、駅での出会いや別れ、市の歩みとともに刻まれてきた日々は、どれも私たちの暮らしや思い出に深く結びついています。今年は、この重なり合う記念の年を、市民の皆さんと一緒に祝いするとともに、その歴史を振り返り、支えてくださった皆さまへの感謝を新たにし、これからの石岡の未来へと希望をつなぐ一年にしていきたいと思います。



開業 130 周年を迎える JR 石岡駅と JR 高浜駅。明治 28 年の開業以来、石岡の玄関口として、人と人、まちとまちをつなぎ続けてきました。通勤や通学、観光や帰省など、駅を行き交う人々の暮らしの物語が、このホームから始まり、ここに帰ってきます。時代とともに駅舎や周辺は姿を変えながらも、その役割は変わらず、地域のにぎわいと発展を支えてきました。これからも石岡駅・高浜駅は、安全で快適な交通の拠点として、市民や訪れる方々を温かく迎え続けます。

◆ 広報いしおかでめぐる とともに歩んだ 20 年 ◆

2005

10月
新石岡市誕生



2010

8月
かしてつバス運行開始



2011

3月
東日本大震災および
福島第一原発事故
(震度 6 弱)



2012

11月
朝日トンネル開通



3月
石岡小美玉スマートIC供用開始



2015

10月
新石岡市10周年



2016
2019

3月

石岡駅の新橋上駅舎が完成



9月

筑波山地域が
「日本ジオパーク」として認定



4月

いばらきフラワーパーク
リニューアルオープン



2月

第1回石岡つくばね
ハーフマラソン開催



1月

石岡市役所新庁舎供用開始



3月

石岡第一高校野球部が
第91回選抜高等学校
野球大会に出場



9月

「茨城国体」開幕



2021

2024

2025



市制施行 20 年、石岡市の今

平成 17 年 10 月 1 日に二つのまちが一つになり、新しい石岡市が誕生してから 20 年を迎えました。地域の魅力が結びつき、社会の変化に対応しながら歩んできた日々が、今の石岡市につながっています。

「進化するまちの拠点」― 合併から未来へ、庁舎の歩み ―

合併により、旧石岡市役所は本庁舎に、旧八郷町役場は八郷総合支所となり、新しい市の歩みが始まりました。平成 23 年の東日本大震災では、本庁舎が大きな被害を受けたため、防災機能を備え、市民に開かれた新庁舎を建設し、平成 31 年に開庁しました。八郷総合支所は震災時に本庁の一部機能を担い、行政を支える役割を果たしました。その後は、図書館や多目的ホールを整備し、行政機能と地域交流の場を兼ね備えた八郷総合支所複合施設へと発展し、地域に親しまれています。



「広がる石岡の魅力」― 新しい魅力と守り続ける伝統 ―

石岡と八郷の特色が重なり合い、まちの魅力は一層大きくなっています。八郷地区で続いてきたつくばねマラソンは、令和 5 年度から市街地と里山を駆け抜けるハーフマラソンへと発展し、市内外の多くの人を楽しむ大会となりました。観光施設のリニューアルで新しい魅力を生み出す一方で、お祭りなどの伝統行事を大切に守り続けながら、二つのまちが一つになって新たなまちの魅力を育んでいます。



「寄り添う子育て支援、広がる安心」― 地域とともに育むまち ―

市は子育て世代の生活に寄り添う支援を広げています。変化する子育て環境や悩みに対応するため、「こども家庭センター」や「教育支援センター」を整備し、気軽に相談できる場所や安心して集える場を用意しました。地域のつながりの中で子どもを育て、親も支え合えるように、これからも安心して子育てできるまちを大切にしていきます。



石岡市市制施行 20 周年記念企画 10 年後へのタイムカプセル 「10 年後のあなた・わたし」に向けた手紙を募集します！

対象は市内に在住・通学・通勤している人で、応募はおひとりにつき 1 通まで。

お預かりした手紙は 10 年間大切に保管し、10 年後（令和 17 年度）に発送します。

募集期限：12 月 19 日 〆まで

※応募方法など詳細は右の二次元コードをご覧ください。 図書館秘書広聴課 Tel 23-7274

